

最低賃金と採用時の最低時給に関する東海4県企業の実態調査（2024年9月）

採用時の最低時給は1169円、全国を上回る

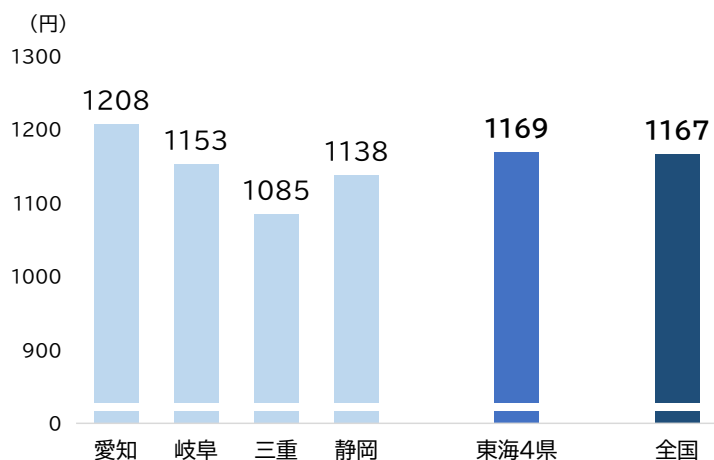
～ 東海4県では「愛知」のみ全国を上回る ～

毎年10月に改定される最低賃金。2024年の全国加重平均は、2023年より51円高い1055円となった。

目標としていた全国加重平均1000円を2023年に達成した政府は、次なる目標として2030年代半ばまでに1500円を目指すことを「経済財政運営と改革の基本方針2024」（骨太の方針2024）で示している。

しかし、継続的な賃金の引き上げは、労働者の収入増加による消費の活性化などが期待される一方で、企業側からみると人件費上昇による収益の悪化などが懸念されている。

そこで、帝国データバンク名古屋支店は、最低賃金改定に対する東海4県企業の見解について、調査を実施した。本調査は、TDB景気動向調査2024年9月調査とともにを行った。

採用時の最低時給 ～東海4県別～


※ 採用時最低時給（平均値）は、小数点第1位を四捨五入している（日給、週給、月給の場合、時給に換算）

※ 調査期間は2024年9月13日～30日、調査対象は東海4県（愛知、岐阜、三重、静岡）の2995社で有効回答企業数は1210社（回答率40.4%）。全国は2万7093社で、有効回答企業数は1万1188社（回答率41.3%）

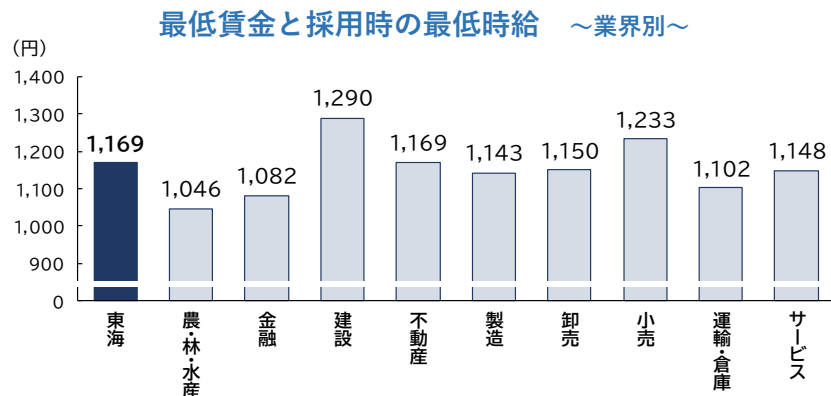
調査結果（要旨）

1. 東海4県の従業員採用時の最低時給は平均1169円、全国を2円上回る
2. 業界別では、『建設』『小売』がともに平均を上回る
3. 「東京都」は1340円で唯一1300円超、「愛知」（1208円）とは132円、「岐阜」（1153円）とは187円、「三重」（1085円）とは255円、「静岡」（1138円）とは202円の開き

1.従業員採用時の最も低い時給は平均 1169 円、全国を 2 円上回る

正社員、非正規社員を問わず、従業員を採用するときの最も低い時給を尋ねたところ、東海4県企業の全体平均は1169円となり、全国(1167円)を2円上回った。

業界別では、『建設』(1290円)でトップ、次いで『小売』(1233円)がともに平均を上回った。一方、『農・林・水産』(1046円)が最下位となったほか、6業界が平均を下回った。



2.都道府県別では「東京都」が 1340 円で唯一 1300 円超、地域間での格差が顕著に

正社員、非正規社員を問わず、採用時の最低時給を都道府県別で比較すると、最も高かったのは「東京」の1340円で、全国で唯一1300円を超えた。以下、「神奈川」(1277円)、「大阪」(1269円)、「愛知」(1208円)、「埼玉」(1205円)と続き、「千葉」(1202円)の5府県で1200円台となった。とりわけ、「東京」にお

いては、改定された最低賃金と採用時の平均時給の差額が+177円と最大だった。

東海地区では、「岐阜」が1153円、「三重」が1085円、「静岡」が1138円だった。とくに「岐阜」では、最低賃金と採用時の平均時給の差額が+152円と、全国で3番目に大きくなった。

都道府県別の最低時給は、地域間の格差が顕著に表れるとともに、2024年度の最低賃金時間額と採用時の最低時給との間に乖離がみられた。

最低賃金と採用時の最低時給 ～都道府県別～

都道府県	2024年度最低賃金時間額	採用時最低時給(平均値)	差額
北海道	1,010	1,116	106
青森	953	984	31
岩手	952	1,032	80
宮城	973	1,066	93
秋田	951	990	39
山形	955	1,025	70
福島	955	1,040	85
茨城	1,005	1,100	95
栃木	1,004	1,093	89
群馬	985	1,115	130
埼玉	1,078	1,205	127
千葉	1,076	1,202	126
東京	1,163	1,340	177
神奈川	1,162	1,277	115
新潟	985	1,055	70
富山	998	1,146	148
石川	984	1,071	87
福井	984	1,077	93
山梨	988	1,058	70
長野	998	1,079	81
岐阜	1,001	1,153	152
静岡	1,034	1,138	104
愛知	1,077	1,208	131
三重	1,023	1,085	62

都道府県	2024年度最低賃金時間額	採用時最低時給(平均値)	差額
滋賀	1,017	1,080	63
京都	1,058	1,153	95
大阪	1,114	1,269	155
兵庫	1,052	1,160	108
奈良	986	1,088	102
和歌山	980	1,054	74
鳥取	957	1,000	43
島根	962	1,048	86
岡山	982	1,111	129
広島	1,020	1,108	88
山口	979	1,090	111
徳島	980	1,013	33
香川	970	1,051	81
愛媛	956	1,030	74
高知	952	1,047	95
福岡	992	1,131	139
佐賀	956	1,062	106
長崎	953	1,036	83
熊本	952	1,069	117
大分	954	1,076	122
宮崎	952	1,017	65
鹿児島	953	991	38
沖縄	952	1,045	93
全体	1,055	1,167	112

注1: 2024年度最低賃金時間額は、「地域別最低賃金の全国一覧」(厚生労働省ホームページ)

注2: 採用時最低時給(平均値)は、小数点第1位を四捨五入したもの

注3: 集計可能な企業を対象に算出

注4: 青色の網掛けは「全国」を除く値が大きい上位3都道府県、赤色の網掛けは下位3都道府県を示す

まとめ

本調査の結果、従業員を採用するときの東海4県企業の最低時給の平均は1169円となり、全国の平均1167円を2円上回った。最低賃金での募集では継続的な従業員の確保が難しいため、最低賃金を上回る金額に引き上げざるを得ない企業が多いと考えられるが、業界間で格差が表れた。また、物価の違いなどにより、地域間での格差が顕著に表れ、2024年度の最低賃金時間額と採用時の最低時給との間に乖離が生じていることが確認できた。

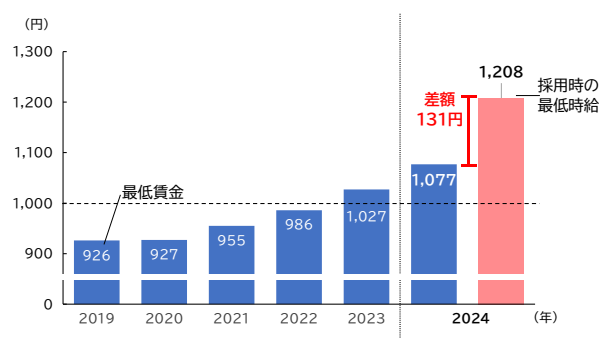
政府は、最低賃金の引き上げを続けるだけではなく、人手不足や価格転嫁への対応、社会保障制度の改定など、企業の経営状況がひっ迫しないよう政策を打ち出していく必要があるだろう。

企業からのコメント

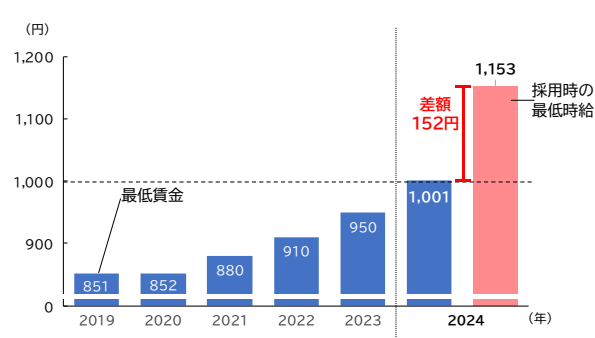
- ・賃金が上がるのは良いが物価上昇を伴うとまた市況が悪くなる (不動産、愛知県)
- ・売上が厳しいにも関わらず賃金引き上げは零細企業にとっては正直厳しい (サービス、岐阜県)
- ・原材料、光熱費等の値上げと併せて人件費高騰は企業にとっては非常に厳しい (製造、愛知県)
- ・大企業と中小企業との格差が解消されない状況で一律での最低賃金の改定は疑問が残る。企業の体力差を考慮すべき (運輸、愛知県)
- ・基本的に仕事内容に関係なく、最低賃金の保障は当然のことであり、職種による特異性に沿った形でプラス α としての加算を考慮すべき (卸売、愛知県)
- ・物価上昇から見てもやむ得ないと思うが、中小企業の販売単価の引き上げもないことには難しいと思う (製造、愛知県)
- ・少し急激過ぎる。客先との交渉が増え困難さが増した (人材派遣・紹介、静岡県)
- ・正規、非正規の給料格差が縮まっており正規雇用者の離職につながるものが懸念される (各種商品小売、愛知県)
- ・「130万円の壁」が変わらないなか、最低賃金ばかり上がっていくのは困る。労働者も労働時間が減るだけ、雇用者は人を増やさなければいけない (飲食料品卸売、岐阜県)

〈参考〉東海4県の最低賃金と採用時の最低時給

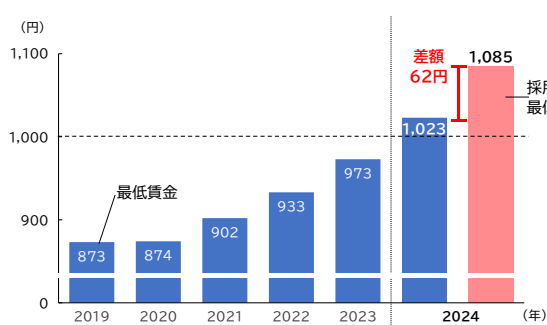
【愛知】



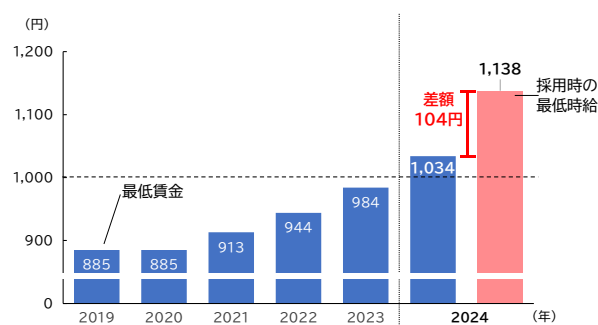
【岐阜】



【三重】



【静岡】



【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 名古屋支店情報部 担当:大隅、稲熊

TEL 052-561-4846 FAX 052-561-5746

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。